

25ans

夜はおうちで美人磨き!
ヴァンサンカン

12 December 2010 No.375

ヴァンサンカン12月号
エレ女のおしゃれ SNAP

最愛ジュエリー
ティファニー物語
大人の黒タキシード
ゾン・スンホン
お風呂・眠り・リラックス♪
夜はおうちで
美人磨き!
釈由美子さんのおこもり美容

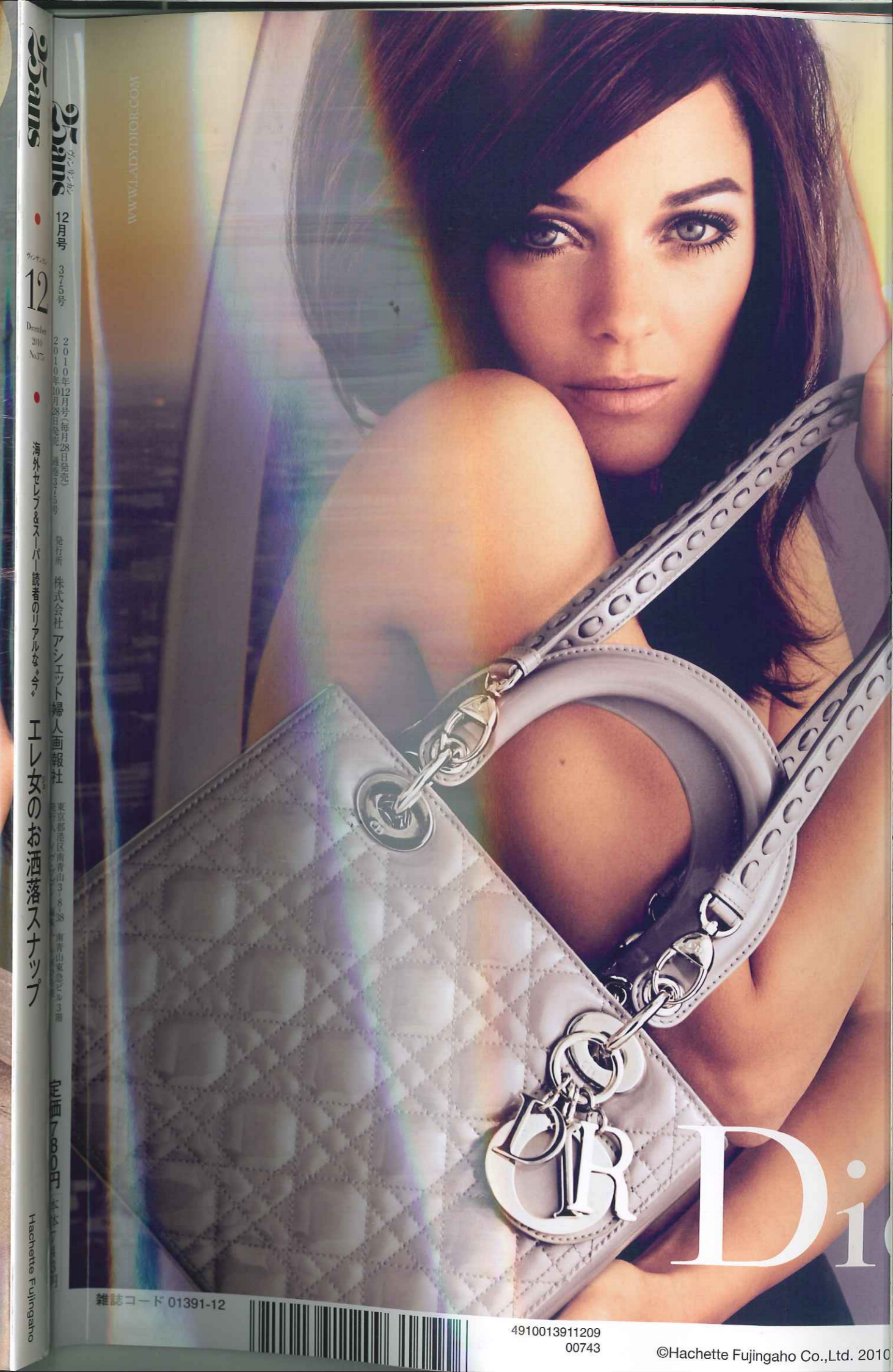
冬物「即買い」プロジェクト
「ゴシップガール」的
アップタウンコート
美人度倍増!
シンプル令嬢ワンピース
今年顔
ドレスアップ
華フルレン、モードなカクテル、
格上げパーティ小物
別冊付録
FOXIE HOLIDAY BOOK
華やかシーズンのお支度ガイド

海外セレブ&スーパー読者のリアルな“今”

TOKYO
KOBE
PARIS
NEW YORK

エレ女のお洒落スナップ

★トレンドリーダーの秘コーディネート公開 ★ウワサの美人姉妹登場
★V.ベッカム&アナ・ウィンター スナップ対決 ★お洒落な人のマストハブ



25ans
12月号 366号
2010年12月号(毎月28日発売)
2010年10月28日発売
海外セレブ&スーパー読者のリアルな“今”
エレ女のお洒落スナップ
定価780円
Hachette Fujingano

WWW.LADYDIOE.COM

雑誌コード 01391-12



4910013911209
00743

©Hachette Fujingaho Co.,Ltd. 2010

ソーシャル・ライフのもぎたてKey Words

ライフスタイルを豊かにする美しいもの・ことをご紹介するこのコーナー。今月は、ラグジュアリーホテルのレストランやバー、リクシー体験プランをピックアップ。ホテルで過ごす楽しみが広がります。

3つのラグジュアリーホテルの新名所・新プランに注目



1 ザ・リッツ・カールトン東京に2つのレストランがオープン!



2 走って、食べて、癒されて…コンラッド東京のランニングプラン



3 ANAインターコンチネンタルホテル東京の新感覚バー&ラウンジ

1 シーフードにグリル…あなたならどっち?

45階のレストランが、2つのスタイルでリニューアル。「アジュール フォーティファイブ」は、フランス仕込みのシェフが、築地や金沢などの産地直送の魚介を中心に、オーガニックの野菜や果物を用いた世界最先端のフレンチシーフード料理(写真右)。「タワーズグリル」(写真左)は、蝦夷豚やソルトブッシュラム、十和田牛など、こだわりの貴かれた最高級の食材が主役。共に、東京湾とスカイラインを望みながらの味わいは格別! ●ザ・リッツ・カールトン東京(レストラン) ☎0120-798-688



2 プロが仕立てるトータルウェルネス体験!

1泊2日でのコンディションを整えるプラン「Conrad Stay, Run & Eat supported by adidas」が登場。一流選手のパーソナルトレーナーを務める、中野ジェームズ修一氏がプランメニューを考案。東京を起点としたランニングコースを走り、中国料理「チャイナブルー」で14品目の摂取を意識した疲労改善メニューで栄養をチャージし、「水月スパ&フィットネス」のマッサージなどで、体をほぐします。トップアスリート用の特別メニューを体験でき、アディダスのウェア付き! ●コンラッド東京 ☎03-6388-8000

3 大人のための遊び場! アーティな空間

都内ホテルのバーのなかで、最大級の広さを誇る「MIXX バー&ラウンジ」が、36階にオープン。さまざまな文化や味、音楽、そして人との出会いが交じり合う「東京」がコンセプト。光と影で演出したドラマティックな空間に、見目麗しいオリジナルのカクテルが迎えてくれます。待ち合わせにぴったりなスタンディング、ゆったり寛げるラウンジ、パーティー向けの個室と、3つのエリアをシーンに合わせて使い分けできるのが頼もしい限り。●ANAインターコンチネンタルホテル東京 ☎03-3505-1111

Room 4

目利きの最新セレ 今月の

SPA

男脳・女脳が五感で選ぶスパ



惣流マリコ

そりゅう・まりこ ●エステ・スパジャーナリスト。年間延べ300以上の膨大なスパ、サロンのなかから選りすぐりのスポットだけを紹介。11月の欧州スパ巡りをこなし、年末は定宿・東豆の「望水」へ

※このコーナーは、丸山智規さんと交代で連載。

Nature Spa Village ●住Barangay Maitim II West Tagaytay City, Philippines ☎+63-2-584-4228 <http://www.nature.com.ph/> 日本での問い合わせ先/サンヨーインターナショナル ☎03-3461-8585



心地よさだけではない、旅を重ねるうちに自然とスパを見る目が養われたみたい。そんな女性におすすなのがフィリピンの「ナーチャースパ」。場所はマニラ空港から車で約90分、風光明媚な別荘地タガイタイにあります。緑いばいの約5000㎡の敷地に客室は14だけ。敷地内に居住して働くスタッフもあり、24時間心尽くしのおもてなしが享受できます。スパには代替医療の専門家が常駐。セラピストも国際資格の保持者揃いという本格的で、フィリピンの伝統「マサージ」「ピロット」やオリジナルのオーガニックプロダクトを使った本格トリートメントが満喫できます。筆者のおすすめ

知的好奇心をくすぐる、フィリピンの注目スパ

はDMSという手足のツボに微弱電流を流して調べる体調と体質診断とソーを最初に受けること。そのときの体の状態や病歴から、他人には決して告白したことなかつた秘密の嗜好までズバリ言い当てられてしまう、占いかくやという不思議体験ができるのです! スパ以外の注目は、世界でここにはしかない客室「イフガオハット」。こちらは世界遺産バナウエ渓谷に暮らす少数民族イフガオ族が実際に使っていた本物の住居。隙間だらけとエアコンもない豪華さとは無縁のゲストルームですが泊まってみると意外に快適でびっくり。本物のイフガオ族の家屋

に泊まるなんてバナウエでだって不可能、稀少な文化をホテルにしながら体験できるのはフィリピン全土でもこちらだけ。近くには大航海時代の歴史に触れられる観光スポットもあり、滞在中に健康だけでなく知的好奇心も追究できる充実の旅が実現することも大きな魅力です。アジアでスパというタイがメジャーですが、フィリピンも注目の施設が急増中! 年末年始は五感と知的好奇心を満たすフィリピンの滞在型スパに出かけてみては?



クトNEWS!

アール・ド・ヴィーヴル

WINE

男と女のエスコート・ワイン



中村孝則

なかむら・たかひろ ●コラムニスト。ファッションやグルメ、旅、ワイン&リカーなどラグジュアリーライフをテーマに新聞・雑誌に寄稿。日本茶普及のための「日本茶WEBマガジン」(<http://www.nihoncha-web.jp>)編集長も務める。剣道錬士七段。大日本茶道学会茶道教授



12月1日発売。10月14日からオンラインショップ「イーリカー」[登美の丘ワイナリー]限定・先行予約開始。「CENTURY(センチュリー)」赤/フルボディ 750ml(化粧箱入り)¥18,900(送料別)お客様センター)

コラボレーションものが、日本のワインに革命をもたらすか?

ファッションの世界において、「コラボレーション」や「ダブルネーム」ものが流行りだしたのは、この20年くらいだろうか。最近では話題づくりのための、無理矢理感が漂うものもあつたりして、言葉としてははやや食傷気味である。二人のデザイナーの「コラボ」などと聞くと、筆者などは二人分のロイヤリティも価格に乗っているのか?なんて訝しく思ってしまうのである。が、中にはコラボで双方の魅力が浮き

上がることもある。たとえば本誌25ansの2010年6月号に掲載されていた、エミリオ・プッチと京都・西陣帯とのコラボは好例だろう。実物を拝見したが、お馴染みのエミリオ・プッチ柄が、最高峰の織技術によつて細部まで緻密に表現されていた。筆者は、プリントよりもむしろ美しいのではないかと思うのであった。前置きが長くなったが、今月は日本ワインにおけるコラボレーションの好例を紹介したいと思う。

同社は、国産ブドウ100%のワインを、日本ワインと位置づけ、日本ならではの味を追求しているが、このコラボは試金石になると確信した。日本のワインのポテンシャルを再発見する意味でも、価値ある本だ。

TRAVEL

インテリジェンスのある旅



寺田直子

てらだ・なおこ ●トラベルジャーナリスト。「インテリジェンスある旅」をテーマに世界各地を取材。年間約150日を国内外のホテルで過ごす。最近では「日本再発見」に目撃、海外へ日本の魅力を伝える活動も積極的。著書に「ホテルブランド物語」など。<http://blog.excite.co.jp/naoterada>

※このコーナーは坪田三千代さんと交代で連載。

W台北のGM、キャリー・マイケル・グレイ氏はハワイ生まれ。日本でのホテル経験もあり大の親日家。各国の大統領、ジョージ・クルーニーやスビルバーグなど数多くのセレブをもてなしたホテル界のカリスマ

視線を受けるのが、スターウッドホテル&リゾートが手がけるW(ダブルユー)。ニューヨーク、バルセロナ、ソウル、香港、モルディブなど世界各地に現在37軒を運営しています。そして、来年2011年2月14日にグランドオープンするのがW台北。完成時、世界の高さを誇ったビル「台北101」を間近に望む信義区に位置し、最新ファッションビルやデパートに囲まれる台北最上級のエッジーナロケーション。エントランスから一気に10階まで上がると、クラブラウンジのような空間と、その先には、バリやN.Y.コレクションのキャットウォークのような屋外プールエリア。まさに、Wのコミットメントでもある感動を表現する「Wow」と思わず叫びたくなるグラマラスさです。アジアの中でも勢

W台北のGMを務めるのは、キャリー・マイケル・グレイ氏。スターウッドにて30年のキャリアを重ね、同社で最年少のGMになったカリスマ的存在です。明るくエネルギー溢れる彼女のもと、若いスタッフたちがトレーニングを重ねています。実は台北にはこの14年間、ラグジュアリーなホテルが誕生していません。それゆえに、クオリティの高い若手ホテルマンの育成は急務です。今回、W台北はそれを担っているといえます。「優れたホテルは人が生み出す」とはグレイ氏。世界各地の一流ホテル、リゾートを経験してきたGMは、若いホテルマンたちの憧れもあり、良きメンター(指導者)でもあります。W流のおもてなしは、空港で出迎えを受け

たときから始まります。「Whatever/Whenever(何でも、いつでも)」を合言葉にゲストが望むことを叶えるのがモットー。それはまさに、Wow!であり、Wonderful!な体験。世界中、最も勢いのある場所に誕生する最もホットなブランド。それが、Wなのです。



405室のゲストルームは最先端コミュニケーションのチャイニーズレストランも登場。<http://www.w>